

■土木工事積算体系基準書（平成22年度版）体系ツリー編における改訂箇所

1. 体系ツリー編(平成20年度から平成22年度)の削除・追加・構成変更

	工種(レベル2)	改訂概要		改訂理由	頁
1. 砂防堰堤	(1)コンクリート堰堤工	①「コンクリート堰堤本体工」(レベル3)、「コンクリート副堰堤工」(レベル3)、「コンクリート側壁工」(レベル3)、「間詰工」(レベル3)、および「水叩工」(レベル3)の配下に「砂防ソイルメント」(レベル4)を追加。	追加	・H21年度新規歩掛制定による。	
	(2)鋼製堰堤工	①「鋼製堰堤本体工」(レベル3)、「鋼製側壁工」(レベル3)、「コンクリート側壁工」(レベル3)、「間詰工」(レベル3)、および「水叩工」(レベル3)の配下に「砂防ソイルメント」(レベル4)を追加。	追加	・H21年度新規歩掛制定による。	
2. 情報ボックス	(1)情報ボックス工	①「舗装版破碎工」(レベル3)を追加。配下の構成は、「舗装版切断」「舗装版破碎」(レベル4)。 ②「管路工(管路部)」(レベル3)の配下に「基礎材」(レベル4)を追加。	追加	・H21年度新規歩掛制定による。	

2. 名称の変更および単位の変更

該当レベル	平成20年度			平成22年度(太字:変更箇所)			該当箇所(レベル1またはレベル2)
	旧名称	積算用単位	総括表用単位	新名称	積算用単位	総括表用単位	
工事区分(レベル1)	砂防堰堤			砂防えん堤			
工種(レベル2)	コンクリート堰堤工			コンクリートえん堤工			砂防えん堤
工種(レベル2)	鋼製堰堤工			鋼製えん堤工			砂防えん堤
工種(レベル2)	砂防堰堤付属物設置工			砂防えん堤付属物設置工			砂防えん堤
種別(レベル3)	鋼製堰堤製作工			鋼製えん堤製作工			砂防えん堤/工場製作工
種別(レベル3)	鋼製堰堤仮設材製作工			鋼製えん堤仮設材製作工			砂防えん堤/工場製作工
種別(レベル3)	コンクリート堰堤本体工			コンクリートえん堤本体工			砂防えん堤/コンクリートえん堤工
種別(レベル3)	コンクリート副堰堤工			コンクリート副えん堤工			砂防えん堤/コンクリートえん堤工
種別(レベル3)	鋼製堰堤本体工			鋼製えん堤本体工			砂防えん堤/鋼製えん堤工
細別(レベル4)	砂防堰堤土工機械分解組立費	台	式 or 台	砂防えん堤土工機械分解組立費	台	式 or 台	各工種共通/共通仮設/共通仮設費/運搬費
細別(レベル4)	呼吸用防護具	式	式	呼吸用防護具等費用	式	式	各工種共通/共通仮設/共通仮設費/安全費
細別(レベル4)	鋼矢板引抜	枚	枚	鋼矢板引抜き	枚	枚	各工種共通/構造物撤去工/構造物取壊し工
細別(レベル4)	広幅鋼矢板引抜	枚	枚	広幅鋼矢板引抜き	枚	枚	各工種共通/構造物撤去工/構造物取壊し工
細別(レベル4)	H鋼杭引抜	本	本	H鋼杭引抜き	本	本	各工種共通/構造物撤去工/構造物取壊し工
細別(レベル4)	掘削沈下	m3	m3	沈下掘削	m3	m3	堰/可動堰本体工/オープンケーソン基礎工 堰/可動堰本体工/ニューマチックケーソン基礎工 堰/固定堰本体工/オープンケーソン基礎工 堰/固定堰本体工/ニューマチックケーソン基礎工 橋梁下部/橋台工/オープンケーソン基礎工 橋梁下部/橋台工/ニューマチックケーソン基礎工 橋梁下部/RC橋脚工/オープンケーソン基礎工 橋梁下部/RC橋脚工/ニューマチックケーソン基礎工 橋梁下部/鋼製橋脚工/オープンケーソン基礎工 橋梁下部/鋼製橋脚工/ニューマチックケーソン基礎工
細別(レベル4)	底版コンクリート	m3	m3	底スラブコンクリート	m3	m3	堰/可動堰本体工/オープンケーソン基礎工 堰/固定堰本体工/オープンケーソン基礎工 橋梁下部/橋台工/オープンケーソン基礎工 橋梁下部/RC橋脚工/オープンケーソン基礎工 橋梁下部/RC橋脚工/鋼管矢板基礎工 橋梁下部/鋼製橋脚工/オープンケーソン基礎工 橋梁下部/鋼製橋脚工/鋼管矢板基礎工
細別(レベル4)	高欄	橋	橋	高欄	m	m	鋼橋上部/歩道橋本体工/歩道橋架設工
細別(レベル4)	手すり	m	m	手摺	m	m	地下駐車場/付属設備工/付属金物工 共同溝/付属設備工/付属金物工
細別(レベル4)	掘削	m3	式	床掘り	m3	式	情報ボックス/情報ボックス工/作業土工